相生高等学校相門会会報 2021 JAN. vol.24

うてな

Aioi

- あいさつ
- 活躍する同窓生
- 母校だより
- 事務局より

同窓会総会 2021年8月21日(土)16:00～ 場所:相生高校会議室

2021年8月21日に同窓会総会を開催いたします。どなたでも参加できますので、卒業以来、相生高校へ来られたことのない方も、この機会に懐かしい母校にお立ち寄りください。そして同窓会活動へのご意見をお聞かせください。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。ただし、新型コロナ感染症対策のため、開催の形態を変更することがあります。来校される前に相生高校ホームページをご確認ください。

相門会のみなさまへ

相門会会長　芦谷　得夫（１回生）

希望に胸を膨らませるはずの2021年の幕開けでしたが、早々に緊急事態宣言が1都2府8県に発出されました（1月14日現在）。宣言が出ていない地域でも感染者が増加し、医療の逼迫など生活に大きな影響が出ています。会員ご本人はもちろんのことご家族や近親者等のご様子はいかがでしょうか。感染し闘病されている方や経済的に大きな打撃を受けている中で頑張っていらっしゃる方などそれぞれ厳しい状況であることと思います。皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この大災害ともいえる状況の中、私は人間の強さと脆さを見たような気がします。医療従事者や介護従事者等感染リスクが高い中で、日夜コロナと闘ってくださっている方々がいらっしゃいます。また、私たちの生活を守るために知恵を絞り、対策を立ててくださっている方々や危機的な状況の中でもなんとか工夫して乗り越えようとされている方々の姿から人の尊い強さを感じました。一方、感染者本人や家族、医療従事者に対しての偏見に基づく誹謗中傷、いわゆるコロナ差別といわれる行為もSNSを中心に起こったことも残念ながら事実です。自分の命を守るという事態とはいえ、偏見に基づいた匿名での行為に倫理観の脆さを痛感致しました。

いまだ明るさの兆しすら見えない中、感染拡大を防ぐために人と人の接触を減らしていかざるを得ない状況ですが、このような時こそ人と人の温かい繋がりが人を支えます。言われなき中傷ではなく「大丈夫？」「ありがとう」という温かいメッセージがあふれることを祈っています。

コロナ禍の中、今年度の総会は開催できず本部役員だけでの協議となりました。その中で、来年は5年に1度の名簿発行年となるため、小野高速印刷への委託を決定いたしました。これから、小野高速印刷による名簿発行に係る調査があると思いますが、ご協力よろしくお願いいたします。

来年度は相生高校創立45年を迎えるとともに、第1回生が還暦を迎える年ともなります。ここからが、同窓会の真の活動が始まるといってもよいのではないかと思っています。今年を機に、少しずつ同窓会活動を活性化させていきたいと考えています。コロナ禍で制限が多い中、私たち役員一同今できることをしっかりとやろうと頑張っていますので会員の皆様の一層のご支援ご協力をお願いいたします。

あ　い　さ　つ

2021 JAN.［utena］vol.24

未来への道を切り拓く力

校長　小西　信吾

相門会会員の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素より母校に対しまして、変わらぬ多大な協力と温かいご支援を賜り心より深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス流行の影響により、入学式を終えたばかりの44回生は、在校生との対面式もできないまま、緊急事態宣言発令により1ヶ月以上休校措置となり、大変不憫な始まりとなりました。

しかし、職員の機敏な行動により、休校中マナビジョンからの生徒と双方向のやりとりを行いました。毎朝、定時の検温、課題の提示など自宅学習の充実を図りました。

相高祭の中止、体育大会の半日実施、地域連携の延期等コロナ禍のトンネルから抜け出せない中、生徒たちは、「ゴミゼロ大作戦」「紙のリサイクル」等、自分たちでできることを企画、実践して、環境に優しい学校づくりに取り組んでいます。

さて、人工知能（ＡＩ）、ビッグデータ、ＩｏＴ等の先端技術があらゆる産業や社会生活に取り入れられた「Society5.0時代」が高度化、多様化する教育にも対応し、環境の整備が求められています。

また、令和２年７月に文部科学省の中央教育審議会「新しい時代の初等教育の在り方特別部会」で、新時代に対応した高等学校教育の在り方として、普通科に加えて、持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）など現代的な課題に対応するため教科を超えた学びに取り組み、大学や国際機関と連携体制を要件とする「学際融合学科」と、地域社会の課題に取り組み、自治体や地元企業との協力体制を要件とする「地域探究学科」を設ける案をまとめました。

さらに、令和4年度入学生より、BYOD（Bring Your Own Device）が導入され、全員がタブレット等の端末を持参し、授業で活用します。

このような状況の中で、持続可能な社会の実現をめざし地域の活力を維持・向上させるには一人一人が社会の担い手として活躍することが求められており、社会的自立に必要な能力や態度の育成が不可欠であり、新しい生活様式に向けた相生高等学校の在り方を考えていく必要があります。

先輩方が築き上げられてこられた相生高校の伝統を受け継ぎ、教職員が労を惜しまず、生徒一人一人と真剣に向き合い、進路実現に向けて、日々努力を重ねてまいります。教職員がここで働きたい学校、中学生がここで学びたい学校とするようさらに発展、進化を続けてまいります。

最後になりましたが、相門会の会員の皆様の今後益々のご活躍をご祈念申し上げますとともに、なお一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げ、あいさつといたします。

職員異動

転出者

職　名	氏　　名	異動先	職　名	氏　　名	異動先
教　諭	中村　弘之	飾磨工業	教　諭	篠塚　久美	再任用終了　本校時間講師
教　諭	松本　英三	定年退職	臨時講師	坂本　佳耶	淡路三原
教　諭	潮海　邦彦	東洋大姫路附属	臨時講師	森川　　昇	上郡
教　諭	村住　敏宏	姫路北	実習教員	兼折　朋香	松江市立女子
教　諭	猶原　正通	龍野	主　査	岸口　智子	山の学校
教　諭	小西　真介	上郡	校務員	河本　和美	山崎
教　諭	田渕　歩美	上郡			

転入者

職　名	氏　　名	前任校	職　名	氏　　名	前任校
教　諭	島本　陽子	姫路商業	教　諭	井上　敏彦	伊和
教　諭	山本　俊二	姫路西	教　諭	井上絵莉香	新規採用
教　諭	上杉　智子	太子	臨時講師	小林健太郎	のじぎく特別支援
教　諭	瀬戸　良昭	太子	実習教員	鈴木　貴子	新任
教　諭	加藤　純治	香寺	校務員	薮田　美穂	姫路聴覚特別支援
教　諭	清水　弘也	龍野北			

金融資本市場に身を寄せて

近藤雄一郎（２回生）

2020年４月、私がＳＭＢＣ日興証券の社長になってからしばらくして、現在相生市役所に勤務している友人の玉田直人君から電話があり同窓会誌への寄稿を依頼され逡巡していたが、某大手上場企業へ社長就任の挨拶に伺った際、経理部門の代表の方が相高６期生という偶然に接し、これも何かの縁と思い寄稿させていただくことにしました。

私は相生市那波で生を受け、那波小学校に入学したものの、父親の転勤で小学２年の途中から高校１年迄は相生以外の地で生活をしていました。

父が再び相生に赴任したため、私は高校２年生からお世話になり、相高で二年間の高校生活を謳歌しました。

その後大学を卒業し、バブル景気真っ只中に日興證券（現ＳＭＢＣ日興証券）に入社。当時の日本は飛ぶ鳥を落とす勢いで、証券会社も世界のマーケットで圧倒的存在感を示す程の時代でしたが、異常な時代は長く続かずその後バブルは崩壊、日本経済は長期低迷の時代に突入しました。金融界も1990年台後半には大手金融機関の経営破綻が続く中、金融ビッグバン政策の下、手数料の自由化やネット証券の台頭など、証券経営の変革を示唆する大きな節目を迎えることとなりました。その後アベノミクスもあり株価は持ち直しましたが、現在は新型コロナの影響に加え超大型台風や酷暑等、自然災害も後を絶たない状況下、世界経済は戦後最大の落ち込みを見せるなど、未だ経験したことのない未曽有の危機に直面しています。

日々激動する金融資本市場に身を置いて35年の歳月で私が身をもって経験したことは、人生や社会、経済は常に変化があるため、多くの人は目先の動きに一喜一憂してしまう。そして突然やってくる大きな変化には恐れて立ちすくんでしまう、ということです。

私は「変化を恐れず、変化を楽しもう」と言っています。一日１％の変化をすると100日で100％変化することができます。在校生の皆さんには、例えば「今日は通学路を少し変えてみる」、「起床時間を５分早める」とか小さな変化に慣れ親しんでください。そして自ら変化（Change）し、難題に挑戦（Challenge）し、成長の機会（Chance）とすることを大いに期待しています。

漫画家看護師はじめました

小玉　隆弘（16回生）

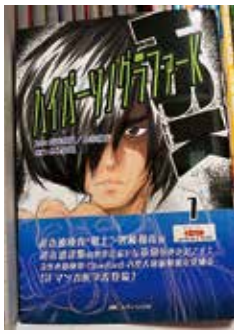
とある夏の日。妻から「高校から電話があったよ」と伝えられた。後日かけ直すと「会報『うてな』に寄稿を…」とのこと。「真面目な文章書けねぇよ」とも思ったが、しかしまぁ、こんな機会滅多にないし生存証明にもなるかと受けることにした。そんなわけで、私の駄文に少々お付き合いいただきたい。

高校を卒業してから20余年。現在私は赤穂市民病院で看護師をしている。胸を張って言えることではないが、“ペーペー”である。看護師としての向上心はある。しかし、誰にでもできることと自分にしかできないことは別。何かをやり遂げたい…という“厨二病”のような理由で描き続けてきた結果が現状だろう。

中学の頃から漫画やイラストを描き続け、就職後に『医療安全対策いろはかるた』（赤穂市民病院）の作画を担当。それが出版社の目に留まり、医療・看護系の雑誌や書籍で挿絵などを描かせていただくこととなった。「人とのつながり」と「継続は力」が二重螺旋のごとく絡み合い現在に至っていると表現すると“それらしい”か？

そしてこの夏、その“二重螺旋”が一冊の本になった。それが『ハイパーソノグラファーＫ（以下ＨＳＫ）』（メディカ出版）である。

『ＨＳＫ』は原作・監修が医師と検査技師で作画が私（看護師）というある意味豪華仕様な“漫画医学書”。「漫画でレクチャーする医学書」ならたくさんある。しかし、原作の先生方が目指したのは「娯楽＞勉強」というあくまで“漫画”作品。“超音波検査技師”を題材にした“全編漫画”の“医学書”というかなりニッチな一冊に仕上がっている。



医師や看護師はドラマ化もされ知名度は高いが、超音波検査技師となると知名度は決して高くはない。しかし、「こんな素晴らしい職業もあるんだ」ということをこれから将来を考える中高生にも知ってほしい…という先生方の想いが『HSK』という漫画には込められている。“医学書”なので、漫画なのにかなり高価なのが難点ではあるが、相生高校という進学校から生まれた異色の漫画家の作品。Webで試し読みもできるので、試し読みして先が気になったら是非ご家庭の書棚に仲間入りさせていただければ、漫画家冥利に尽きるというものである。

https://twitter.com/TAK_KoDAMA

私の新しい生活

山本　紗希（41回生）

大学に入学して、将来の夢に一歩近づいていることを実感しています。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、前期の授業はすべてオンラインになりました。大学にもほとんど行けておらず、私が想像する大学生活とは程遠いものです。しかし、この状況だからこそ身に付けたことがあります。それは「自分で考えて、行動すること」です。高校生の時は、分からないことはすぐに友達や先生に聞いていました。しかし、オンライン授業になって友達が傍にいないからこそ、「自分でなんとかしなきゃ」という思いが強くなりました。大学での授業や課題は自分で計画を立てて、実行しなければなりません。何をしなければならないのか、自分から積極的に情報収集する必要があります。期限日を忘れないようにリストアップするようにもなりました。一人だからこそ、何を優先的にしなければならないのかを常に考えて行動するようになりました。

私は今年の４月から一人暮らしをしています。一人暮らしを始めてすぐは、オンライン授業になったことで友達もできず家でも一人なので寂しさを感じていました。そんなときにオンラインでの交流会が開催されました。初めは交流会に参加するかとても迷いました。しかし交流会に参加すると、みんな同じ境遇だということが分かって、すぐに意気投合しました。今では友達や先輩とのつながりもつくることができたので、あの時勇気を出して交流会に参加して良かったと思っています。後期になって新しい友達や先輩と会うのが楽しみです。

後期からはより専門的な授業や実習が始まります。今まで通りとはいかない中でも、周りの仲間と支え合って頑張っていきます。みなさんの高校生活も新型コロナウイルス感染症の影響で今までとは違ったかたちになっていると思います。だからといってネガティブにとらえるのではなく、この状況だからこそできた経験を活かしてほしいと思います。夢に向かって頑張ってください。

令和２年８月原稿記載

母　校　だ　よ　り

2021 JAN.［utena］vol.24

相生高校の今

42回生自然科学探究発表会

2020年３月20日（金）に、自然科学コースの２年生が今年度取り組んだ「自然科学探究」について発表会を行いました。

新型コロナの影響もあり、校内での実施となりました。臨時休校の影響もあり、準備に十分な時間が取れない中、班員はできる限りの準備を行い、発表に臨みました。

各班の１年間の主な取り組み内容は次の通りです。

【数学班】　・π とは何か？　・y＝sin x を微分してみる。
【身近な科学班】　・紙で指が切れるのはなぜか？
【土壌・除草剤班】・土壌と植物の発育具合の数値化
　・除草剤として身近なものが使えないか？
【微生物班】・相高周辺の水生生物調査
　・ミドリムシの培養条件の検討
【宝石班】　・アルミ缶から宝石をつくる

第43回体育大会

2019年９月20日（金）、「獅子奮迅」のスローガンの下、第43回体育大会を実施しました。当日は、ご来賓・保護者等、計189名の方にお越しいただきました。

前年に引き続き、相高祭で作成したクラスＴシャツを着用し、各競技で激しい勝負が繰り広げられました。午前の部では、男女100m・男女200m・女子４×100mリレー・男子４×200mリレーの予選、２年生応援合戦、綱引き、生徒会種目「障害物リレー」、Power of AIOI、１年生学年演技～ Here We Go ！～を行いました。

２年生中心の応援合戦では、各クラス流行を取り入れながら趣向を凝らした応援を考え、同じクラス団の１・３年生も一緒になって盛り上がりました。

教　育　実　習

９月７日（月）から９月29日（火）までの３週間、本校の卒業生３名が、教育実習のために母校に帰ってきました（１名９月７日から９月18日までの２週間）。不安や緊張のなか、担当教諭のアドバイスを受けながら、授業観察や教材研究を積み重ね、成功・失敗を繰り返し、熱心に教科指導に取り組みました。また、部活動指導や体育大会などにも積極的に関わり、生徒たちと意欲的に交流しました。

この３週間、実習生にとっても、生徒たちにとっても、とても濃く、充実した時間になったのではないかと思います。

【実習生の感想】

38回生　三木佑亮（数学）

私はいろんなことに恵まれた2週間を過ごした。コロナ禍で教育実習を受け入れて頂いたこと、私の考えや意見を尊重して下さる先生方、元気いっぱいの生徒達、お互いに意見交換をして意識を高め合える他の実習生。この恵まれた環境で実習が出来たので実習しやすくとても楽しく過ごすことが出来た。

塾講師のアルバイトをずっとしていたが学校での授業というのは全くもって違うと感じさせられた。私が生徒の時は何も考えず授業を受けていたが学校の先生は１つの授業をするのに陰で想像以上にいろいろな事を考えていたのだと初めて知ることが出来た。

今回の教育実習では多くのことを学ぶことが出来、今後もここで培ったことを自身の成長に繋げていきたいと思う。

生徒達に伝えたいことはいろんな事に挑戦しに何事も全力でやってもらいたいということ。

この先社会に出ていく相高生のみなさんは自己PRが出来なくてはなりません。そのためには自分自身の良さを知る必要があります。自分の長所が分からない人も長所が言える人も何事も全力で向き合うことで気づけなかった長所や新たな能力を見つけていけると思います。

相高生のほとんどが社会に出るまではまだ時間があります。まずは勉強や行事、委員会活動などで構わないですが社会に出るまでにいろんな事に挑戦し何事にも全力で向き合ってみてください。

38回生　貞清裕平（地歴）

私にとって、この三週間は考えに考え抜いた三週間でした。

生徒と向き合い、教壇に立つことは本当に嬉しかったですが、同時に大きな責任を感じる瞬間でした。緊張と不安の中で、成功と失敗を重ねていき、一歩一歩授業が面白く、自分を出せるようになりました。どのように伝えればよいか悩むことも多かったですが、それがうまく伝わった時、失敗した時の生徒の反応はとても分かりやすく、毎日が一喜一憂の連続でした。

また、実習開始直後は生徒に対して、少し遠慮してしまった部分があり、距離を感じる部分もありましたが、授業や日々のかかわりで少しずつ打ち解けることができました。そして、実習中に開催された体育大会では、生徒とともに盛り上がり、授業中では見ることのできない高校生の熱い一面を見ることができました。

今回の教育実習は、たくさんのご支援・ご指導をいただいた先生方や、毎日笑顔で接してくれた生徒達、ともに協力した実習生のおかげで、多くの事を学び、成長することができました。この三週間で、自分自身の課題や未熟な部分をたくさん発見することができたので、実践したことや、学んだことをもう一度考え直して、日々精進します。本当にありがとうございました。

37回生　山内貴浩（物理）

3週間の教育実習を終えてみて、授業研究や教師としての学校生活など相高生時代とは全く異なる相高生活に困惑し、しんどさを感じましたが、それよりもさらに、生徒や教職員の方と接する中で充実感を感じていました。教師の卵として、社会生活が垣間見え、新鮮で刺激的な毎日を送ることができ良い経験になりました。実習生として相高に帰ってこられて良かったです。

教育をする者として、授業時やホームルーム、部活動の時間にうまく話せない自分、知識が足りてない自分に未熟さを痛感しましたが、先生方に助けられながら先生方の言動を観察し勉強することができました。

ホームルームの生徒や部活動の部員の子たちを中心に生徒とはぼちぼちコミュニケーションがとれたと思います。積極的に話しかけてきてくれた子には感謝しています。出会った生徒の成長を卒業まで見られないのがとても残念です。生徒たちにとっても印象に残った実習生になれていれば光栄です。

僕は現在、京都の理系大学で研究活動に没頭する毎日ですが、大学での経験を武器にして、来年からは教員として頑張りたいと改めて感じることができました。

～県立学校環境充実応援プロジェクト～

母校の後輩たちの教育環境整備のため寄附金を募集しています！

兵庫県は「ふるさと納税」の制度を活用して、教育の一層の活性化を図るため平成28年度から「県立学校環境充実応援プロジェクト」を実施しております。

相生高校では、本年度「地域に開かれた学校～学校PR活動の充実～」を事業テーマとして学校名表示看板、懸垂幕昇降機設置等のための寄附金を募集します。

学校から地域に情報を発信するとともに、部活動等で頑張っている生徒を応援するためのプロジェクトです。

ふるさと納税による寄附金をすると、寄附額のうち2,000円を超える部分について、確定申告することにより、一定の上限まで、所得税、住民税から原則として全額が控除されます。詳しくは兵庫県ホームページの「ふるさと納税」を参考にしてください。

なお、昨年度「快適な教育環境をサポート」として寄附金を募集したところ、目標額に達成し、「洋式トイレの暖房便座化」「がんば廊下照明のLED化」を実施することができました。皆様からの温かい応援ありがとうございました。

ぜひ、本年度も母校相生高等学校の取組みを応援いただき、継続したご支援をいただきますようお願い申し上げます。

令和元年度　部活動活動報告

部活動名	大会名	種目	順位･戦績･賞名 等	記録等
女子ソフトテニス部	兵庫県ソフトテニス中央決勝選手権大会	女子団体戦	第５位	近畿大会へ
陸上競技部	兵庫リレーカーニバル	高校一般男子走幅跳	第７位	
	インターハイ西播地区予選	男子総合	第７位	
	インターハイ西播地区予選	男子走幅跳	第２位	県大会へ
	インターハイ西播地区予選	男子走高跳	第２位	県大会へ
	インターハイ西播地区予選	女子7種競技	第２位	県大会へ
	インターハイ西播地区予選	男子100m	第６位	県大会へ
	インターハイ西播地区予選	男子110mH	第５位	県大会へ
	インターハイ西播地区予選	男子400mH	第７位	県大会へ
	インターハイ西播地区予選	男子800m	第６位	県大会へ
	インターハイ西播地区予選	男子4×100m	第６位	県大会へ
	インターハイ西播地区予選	男子4×400m	第７位	県大会へ
	第54回西播高等学校ジュニア陸上競技対校選手権大会	男子総合の部	第７位	
	第54回西播高等学校ジュニア陸上競技対校選手権大会	男子8種競技	第１位	
	第54回西播高等学校ジュニア陸上競技対校選手権大会	男子800m	第２位	
	第55回西播高等学校ジュニア陸上競技対校選手権大会	男子1500m	第６位	
	第56回西播高等学校ジュニア陸上競技対校選手権大会	男子1500m	第７位	
	男子第74回兵庫県高等学校駅伝競走大会西播地区予選会	男子の部	第４位	県大会へ
剣道部	第66回西播高等学校剣道大会	女子団体の部	第３位	県大会へ

部活動名	大会名	種目	順位･戦績･賞名 等	記録等
卓球部	兵庫県新人卓球大会 西播大会	女子ダブルス	第２位	県大会へ
	兵庫県新人卓球大会 西播大会	女子団体	第２位	県大会へ
男子バレーボール部	西西播大会		第３位	
	選手権大会　西播予選			県大会へ
女子バレーボール部	選手権大会　西播予選			県大会へ
野球部	第101回全国高等学校野球選手権		兵庫大会４回戦進出	
自然科学部	日本土壌動物学会第42回大会	中高生の部	最優秀ポスター賞	
情報メディア部写真班	第27回兵庫県高等学校西播磨支部写真コンテスト		特選	
	第28回兵庫県高等学校西播磨支部写真コンテスト		入選	
	第27回兵庫県高等学校春季写真コンテスト		佳作	
	兵庫県高等学校西播磨支部秋季写真コンテスト		入選	
	兵庫県高等学校西播磨支部秋季写真コンテスト		佳作	
吹奏楽部	第66回兵庫県吹奏楽コンクール西播地区大会	高等学校S部門	金賞	

職業ガイダンス

本年度１年生対象第９回職業ガイダンスに来ていただいた講師の方を紹介します。

相生市立中央小学校	濱瀬　友希	34回生
相生市立平芝幼稚園	杉山　悦子	18回生
社会福祉法人　愛心園	村瀬　　亮	26回生
相生市役所	大谷　健人	31回生

JAバンク	水野　一郎	２回生
赤穂中央病院	桶口 三香子	11回生
積水ハウス㈱	小松　洋一	２回生
グローリー㈱	起塚　宏道	13回生

初めての方も毎回の方も本当にお忙しい中お世話になりました。

敬称、役職名は省略

令和元年度　進路状況

進路指導部長　**桑田　卓郎**

大学入試センター試験最終年となった昨年は、今年から始まる新入試制度回避のため極端な「超現役志向」の入試となりました。さらにセンター試験の英語と数学の難化で、平均点が大幅に下がったために、志願者の減少に拍車をかけました。学部系統別では、長らく続いた文系人気が落ち着き、情報系を中心に理工系分野の志願者が増加しました。

一方で私大一般入試の志願者数は14年ぶりに減少しました。2016年から始まった入学定員管理の厳格化による合格者絞り込みの影響で、多くの私立大学が大幅に難化していました。そのため「早く確実に」合格を決めたいという受験生の心理が強く働き、指定校推薦やAO入試の人気が高まりました。しかし、推薦入試は昨年の難化の反動で志願者を大幅に減らす一方で、大学が合格者数を増加させたために意外に広き門となりました。

本校では、例年以上に指定校推薦の希望者が多く、受験生の「安全志向」を反映したものとなりました。国公立大学には、大阪大学や神戸大学をはじめ67名（うち過年度卒業生６名）が合格しました。センター試験の難化のため、思うように得点を伸ばすことが出来なかった生徒も多かったのですが、前期入試だけでなく、中期、後期入試まで粘り強く取り組んだ成果と言えます。一方、私立大学では関関同立大23名、産近甲龍大106名をはじめ、のべ598名（うち過年度卒業生14名）が合格しました。看護系においても、地元の学校を中心に最後まで粘り強く健闘しました。

令和元年度　合格・進学結果一覧表

	合　計		
	現　役	浪　人	計
国公立大学	61　(56)	6　(6)	67　(62)
私立大学	584　(114)	14　(14)	598　(128)
大学小計	645　(170)	20　(20)	665　(190)
準大学	2　(0)	1　(1)	3　(1)
国公立短大	1　(1)	0　(0)	1　(1)
私立短大	12　(8)	2　(0)	14　(8)
短大小計	13　(9)	2　(0)	15　(9)
専門・各種学校	18　(13)	0　(0)	18　(13)
就職・公務員	2　(2)	1　(1)	3　(3)
留学・予備校	3　(3)		3　(3)

※（　）内は実進学・就職者数　数字は延べ数

令和元年度　表彰の記録

読書感想文	第65回青少年読書感想文兵庫県コンクール	県知事賞
	播磨西高校読書感想文コンクール	佳作

第65回青少年読書感想文兵庫県コンクール表彰式　2019年11月29日(金)
兵庫県知事賞　兵庫県立相生高等学校　2年3組　石井　あゆみ

令和元年度　主要合格先

《国公立大学》	
帯広畜産大	1
北見工大	2
東京農工大	1
静岡大	2
三重大	1
滋賀大	1
大阪大	1
神戸大	1
和歌山大	1
鳥取大	5
島根大	4
岡山大	6
山口大	3
徳島大	5
香川大	1
愛媛大	4
高知大	5
兵庫県立大	8
公立鳥取環境大	1
島根県立大	1
岡山県立大	4
新見公立大	2
県立広島大	1
福山市立大	1
下関市立大	2
北九州市立大	2
福岡県立大	1

《私立大学》	
城西大	1
拓殖大	1
多摩美大	2
中央大	1
東海大	1
武蔵野大	1
金沢工大	8
京都産大	8
京都女子大	1
京都造形芸大	2
京都橘大	5
同志社大	4
佛教大	5
立命館大	5
龍谷大	12
大阪学院大	3
大阪経大	5
大阪工大	44
大阪産大	26
大阪歯大	2
大阪電気通信大	17
大阪薬大	1
大阪大谷大	1
追手門学院大	2
関西大学	7
関西外大	7
近畿大	60
四条畷学園大	1
摂南大	13
阪南大	5
関西医療大	1
森ノ宮医療大	1
大手前大	2
関西学院大	7
甲南大	28
甲南女子大	16
神戸芸術工科大	1
神戸学院大	108
神戸女学院大	2
神戸女子大	26
神戸薬大	1
神戸松蔭女子大	6
神戸親和女子大	9
園田学園女子大	2
姫路獨協大	6
兵庫大	4
武庫川女子大	8
流通科学大	10
関西福祉大	16
兵庫医療大	1
姫路大	5
神戸常盤大	5
天理大	1
奈良大	1
岡山商大	2
岡山理大	49
川崎医大	1
川崎医療福祉大	2
吉備国際大	4
倉敷芸術科学大	6
就実大	4
環太平洋大	2
広島工大	8
福山大	2
徳島文理大	1

《専門学校》	
姫路医療センター附属看護専門学校	3
姫路医師会看護専門学校	1
相生市看護専門学校	2
愛仁会看護助産専門学校	1
大阪済生中津看護専門学校	1
姫路歯科衛生専門学校	1
姫路医療専門学校	1
はくほう会医療専門学校赤穂校	1
姫路情報システム専門学校	1
トヨタ神戸自動車専門学校	1
神戸電子専門学校	2
神戸動植物専門学校	1
神戸ベルェベル美容専門学校	1
京都バレエ専門学校	1

《就職》	
自衛隊	1
国家公務員(裁判所)	1
リッチフィールド㈱	1

令和元年度決算報告

〈一般会計〉　（単位：円）

収入	3,960,723
支出	3,938,739
差引残額	21,984

■収入の部

前年度繰越金	23,289
入会金	3,550,500
会費	386,911
雑収入	23
合計	3,960,723

■支出の部

生徒活動奨励金	250,000
会報発行費	1,479,676
事務費	69,517
貸金庫手数料	19,440
会議費	6,739
幹事会案内状印刷・郵送費	53,367
周年行事積立金	200,000
名簿発行準備金	200,000
同窓会館設立基金	1,660,000
予備費	0
合計	3,938,739

■積立金・基金の状況

同窓会館建設基金	47,088,686
周年事業積立金	1,246,916
名簿発行積立金	1,113,638
計	49,449,240

令和２年度予算

〈一般会計〉　（単位：円）

■収入の部

前年度繰越金	21,984
入会金	3,540,000
会費	380,000
雑収入	8,016
合計	3,950,000

■支出の部

生徒活動奨励金	250,000
会報発行費	1,520,000
事務費	70,000
貸金庫手数料	20,000
会議費	10,000
幹事会案内状印刷・郵送費	60,000
周年行事積立金	200,000
名簿発行準備金	200,000
同窓会館設立基金	1,600,000
予備費	20,000
合計	3,950,000

■積立金・基金からの取り崩し予定

同窓会館建設基金・周年事業積立金・名簿発行積立金
いずれも取り崩しの予定はありません。

令和元年度事業報告

○会報誌「うてな」発行　12月　9355部発行（9900部印刷）
○母校支援事業（PTAとの共同事業）
・生徒活動奨励金
生徒図書購入、水泳部 相生市立プール利用料、弦楽部箏曲班講師謝礼、女子ソフトテニス部 近畿大会出場横断幕、交通費、宿泊代、野球部 黒土、西兵庫大会応援団バス代、バレー部 コート支柱、サッカー部 物置、パイプ椅子、椅子用キャップ、真砂土、マグランド（塩化マグネシウム）

・教育振興基金（国際交流委員会の29年度末繰越金を原資に平成30年4月設立）
国際理解講演会（11/6開催　大崎麻子氏　関西学院大学客員教授、国際NGOプラン・インターナショナル・ジャパン理事）
「SDGs：世界が描く未来へのロードマップ」

令和２年度事業計画

○会報誌「うてな」発行　12月ごろ
○宛名シール無料提供
○母校支援事業（PTAとの共同事業）
・生徒活動奨励金
・教育振興基金
国際理解講演会
11/4　山口　壮氏　衆議院議員　相生市出身
「コロナ後のグローバリゼーション ～相高生の無限の可能性～」
2021 English Day 費用補助

会員名簿作成について

相門会では５年毎に会員名簿の発刊を行っております。令和３年がその更新の年となります。同封の調査はがきをご確認いただき必ずご返信くださいますようお願いいたします。また、フォームメールでも送付可能です。

同窓会（相門会）　https://ssl.dousou.info/1post/aioi/

41回生 相門会幹事（相生高校の同窓会は「相門会」と名付けられています）

41回生	1組	2組	3組	4組	5組
	◎井上 泰壱（いのうえ たいち）	阪下 凜（さかした りん）	池上 凌平（いけがみ りょうへい）	小野 眞治（おの まさはる）	津田 将史（つだ まさし）
	小前 春歌（こまえ はるか）	濱田 拓実（はまだ たくみ）	司波 胡桃（しば くるみ）	髙津 優香（たかつ ゆうか）	◎山本 紗希（やまもと さき）

◎常任幹事

会費納入について

いつも会費納入していただきありがとうございます。この「うてな」は、同窓生の皆様の会費で発行しております。できるだけ多くの方々がご支援くださいますよう、お願い申し上げます。

さて会費は、同封の振込用紙で、ゆうちょ銀行、コンビニ又はLINE Pay請求書支払いで納入して下さい。会費納入の際に、住所・氏名の変更がありましたら、ゆうちょ銀行の場合は、振込用紙を訂正し、払い込んでいただくと、事務局への連絡は必要はありません。また、メッセージがありましたら、あわせてお書きください。なお、コンビニ扱いの場合は、会費納入のみで、住所・氏名の変更、メッセージの受付はできませんので、変更の必要のある場合は、事務局へもご連絡ください。

●住所変更等の連絡先：同窓会名簿発行事務局
小野高速印刷㈱ 〒670-0933 姫路市平野町62
フリーダイヤル：0120-66-7754
FAX：0120-81-2299
●ホームページ（同窓会++）http://dousou.info
TOPページ「住所変更はこちら」より
●携帯電話登録フォーム　右のQRコードより →

総会報告

令和２年度　同窓会役員改正　　は令和２年度変更分

役職	氏名	回生	役職	氏名	回生
会長	芦谷 得夫	1			
副会長	大西 康之	1	副会長	志茂 邦彦	2
	軀川 法宏	2		西角 隆行	4
	佐伯 敦	10			
会計	山内小百合	1	会計	浮田さおり	3
書記	宮崎真哉子	2	書記	大石 雅嗣	11
会計監査	福間 章代	1	会計監査	梅田 朱美	13
校内幹事	中部 修一	2	校内幹事	岸本 由樹	3
	山本 俊二	6		射延 章浩	8
	藤岡 裕介	11		兼田 淳平	34
	鈴木 貴子	37			

編集後記

新型コロナ感染症の影響で、相門会の皆様の生活も一変されたことと思いますが、いかがお過ごしでしょうか。学校現場においては教室にプロジェクターが入ったり、生徒用タブレットが120台導入されたりして、IT化が一気に進みましたが、コロナ禍にあってどのように学びを止めずに進めていくのか模索中です。

例年よりも遅くなりましたが、令和２年度のうてなを発行することができました。原稿を寄せていただいた方々に感謝申し上げます。今後とも、相門会の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、会員の皆様方のご健康を心よりお祈りいたします。

うてな　2021 JAN. vol.24　相生高等学校相門会会報
相門会事務局兵庫県立相生高等学校内　〒678-0001 相生市山手１丁目722-10　TEL (0791) 23-0800　FAX (0791) 23-0801